



ISCN 2020

- 遺伝学研究者には欠かせないヒト染色体に関する
- 国際命名規約のリファレンスブックに2020年よりオンライン版が登場！

iscn.karger.com/

ISCN (International System for Human Cytogenomic Nomenclature) は核型解析からFISH解析、マイクロアレイ、さまざまな領域固有の分析、DNAシーケンシングに至るまで、技術によって特定されたゲノム再配列を説明するために使用される標準的な命名法を提供します。各国の細胞遺伝学コミュニティから提案されたメソッドは、同学界のピアによって指名され、選出された国際的な専門家グループで組織された常任委員会によってレビューされています。

主な対象ユーザー

- 遺伝学者
- バイオインフォマティクス
- 医師・ポスドク
- 分子生物学者
- 生命科学・医学系教員
- 検査技師

ISCN最新版の主な特徴

- マイクロアレイやシーケンスなど、染色体をヌクレオチドの番号でpterからqterに配向する技術の使用が増加しているため、ISCN委員会は染色体検査を含むすべての技術でこのアプローチを標準化することを決定しました。
- すべての技術の常染色体に影響を与える事項以前に、性染色体異常を提示することが決定されました。
- 再配置がそのまま継承されるのか、部分的に派生として継承されるのかを、命名法により明確にしました。
- 極体の分析に対する特定の命名法の必要性を特定し、シーケンス技術に基づいて既存の命名法を改善しました。



研究機関様向け

ISCN オンライン 購読のメリット

最近のパンデミックにより、研究機関での図書貸し出しがオンライン版中心となった今、遺伝学者や分子生物学者にとってISCNをオンライン版で、いつでもどこでも自在に利用できることは、多くの実用的な利点があります。

- ✓ 機関IPアドレスを介して研究機関全体にISCNのアクセスを供給
- ✓ 第16章をより深く理解できるように、Human Genome Variation Society (HGVS) が推奨する命名法を取り入れて包括的に掲載
- ✓ 医師がテキストに簡単にアクセスできる検索エンジンを搭載
- ✓ ヒトゲノム専門家の日常業務を支援するツールを追加
- ✓ 過去に刊行された全てのISCNエディション（アーカイブ）へのアクセス
- ✓ ISCN 2016エディション以降に更新された最新の命名法をハイライト表示
- ✓ 編集者たちによる正誤表（Errata）をオンラインテキストに沿って表示
- ✓ ISCNフォーラムに参加することで、著者、Karger ISCN編集部、および他のユーザーとのインタラクティブな交流が可能

ISCN オンライン 機関購読

アクセス期間：4年間

- **サイトライセンス価格***
ISCN実質ご利用者数（顕在FTE）による見積制。
- **冊子版**
冊子追加オプションもございます。
価格は以下へお問合せ下さい。



お問合せ先

 **MARUZEN-YUSHODO**

丸善雄松堂株式会社

学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18 国際浜松町ビル7F

TEL 03-6367-6114

e-mail: e-support@maruzen.co.jp